



土壤医

としはる
古畑 俊治さん(上大池)

県内では3名、全国でも160名ほどしかいない土壤医(土壤診断や施肥改善などの専門家)の資格を持つ俊治さんは、15年前から「土づくり」の仕事をしています。

「農業は自然と土壌と共にあり、土壌を壊すのも活かすのも農業です。持続可能な農業に取り組んで頂き、世界の見本となる農業をして欲しい」と話してくれました。

無料で土づくりの相談や講習会を行ったり、北海道のお客さんの所に出向いたり、忙しい日々を過ごしています。

(11月14日 講習会にて)

働姿

バドミントン教室

10月18日(木)、トレーニングセンター体育館にて全5回のバドミントン教室の開会式が行われ、続けて第1回目の教室が開催されました。20名以上の受講者が、先生方の指導の下、熱心に取り組んでいました。



祝！初優勝!!



11月1日(木)、豊科カントリー倶楽部に於て第9回長野県中信地区シニアゴルフ競技大会(チーム戦)が開催されました。山形村代表6名は、2位と1打差という僅差を制し、初の大会優勝を勝ち取りました。

来年5月の県大会に進む皆さんは「代表に恥じないプレーをして、県下4位以内を目指します」と意気込みを語ってくれました。



道祖神と新そば祭り

11月11日(日)、ミラ・フード館にて第29回道祖神と新そば祭りと第3回山形村産業フェアが開催されました。秋晴れの下、県内外から足を運んだお客さんが長蛇の列を作っていました。

球宴閉幕

10月20日(土)にナイターソフトボール、10月27日(土)に早起き野球のそれぞれが閉会式を行いました。

例年通り天候に翻弄されましたが、シーズンを振り返り、互いの健闘を称えあいしました。

順位は10月号を参照



早起き野球 YBC



Bリーグ 西下 Aリーグ おちこぼれ

S T I 杯 W優勝



6年生



2年生

10月28日(日)、S T I 杯秋季大会が筑北サッカー場で行われ、山形少年サッカークラブの2年生と6年生が見事優勝しました。優勝チームに送られた新米は、みんなおいしく食べ、次なる勝利の活力になりました。

山すそ

「子どもが風邪を引いたらノケガをしたらどうするんだ!?」近年、この手のクレームが多いと聞く。看病してあげる以外にどんな回答を期待しているのかといつも不思議に思う。そもそも親の役目とは何か?子どもを災難から護ることが以上に、生き方を教えることが重要ではないか?親の目が届くうちに小さな病気やケガを経験させることでより大きなトラブルをできれば自力で乗り越えていくノウハウが身につくのだ。ゲームのようにステータスが変わると突然スキルを覚えるわけではない。また看病するという行為は子どもの心を育てる役目もある。身体が弱り心がしぼんでいる時に優しくされることで、人の温かさやありがたさを理解できるようになる。正直、元気な時にあれこれ世話を焼くのはウザがられるだけで逆効果でしかない。大きな病気やケガでなければいずれ巣立つ子どもが苦労しなくて済むように経験させてあげてほしい。その経験はいずれ子ども自身やその子・孫を護っていくスキルになるであらう。

図書館からのお知らせ

*自然観察クラブ 冬編
「まつぼっくりで
クリスマスツリーを作ろう」
クリスマスもまだかです。
まつぼっくりを使ってかわいいクリスマスツリーを作ります。
期日：12月9日(日)10:00~12:00
場所：トレーニングセンター
「めばえの部屋」
定員：20人
持ち物：グルーガン(ある人だけ)
*「おはなしの会こぐま」の
たのしいクリスマス会
期日：12月14日(金)10:30~
トレーニングセンター「めばえの部屋」で、クレヨンママによる楽しいおはなし会を開きます。

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.38

編集＝山形村図書館

自然観察クラブ 秋編 親子で楽しく「たき火で おいしいものパーティー」

10月20日(土)、B & Gプールの南側空き地で、たき火体験をしました。7組25人の親子が参加してくれました。

まずは、火おこし。薪をうまく組み合わせて、勢いよく炎が上がります。熾火になる間に竹パンの準備です。昨夜のうちによくこねて一晩冷蔵庫で発酵させた生地は、もっちりなめらか。子どもたちも油を塗った竹に手際よく巻き付けていきます。

さあ、焼くぞー！竹を回しながらゆつくりあぶっていくと、おいしそうな焦げ色がついていきます。炭



の中では焼きリンゴや焼き芋がほつくり焼けていきます。それぞれが持ち寄ったバナナやチーズ、マシマロやおもち、イノシシの肉も大人気。アクアの会の上條さんが山で採ってきたクルミやクリを焼いてくれました。それをクロモジの枝から作った楊枝でつついて食べました。



さて、メイソンの竹パンは？ふつくら香ばしく焼きあがり、みんな「おいしいね」とほおばりました。たき火で焼いたからこそのおいしさでした。

最後は炭を土に埋めて、たき火の始末をしたらパーティーは終了です。次は何を焼こうかな？

ラジオ好きの紳士で大にぎわい「懐かしの音風景 鉱石ラジオ展」

10月27日(土)から文化祭まで、古い鉱石ラジオやラジオ変遷の歴史をパネルにして展示しました。これは、古くからのラジオを300台近く収集・修理している、松本市の久保田長利さんの提案で実現したものです。佐久や飯田から来てくださった方もあり、見学者は延べ100人を超えました。

各新聞に紹介の記事が載ったので、展示初日から大勢の見学者で

にぎわいました。「貰い自分も鉱石ラジオを作ったんだよ」「私もラジオが好きで、たくさん集めていきます」「今日は久保田さんはいないの？」ラジオ好きの元少年たちが、懐かしそうに、食い入るように展示を見ていました。



3日、4日の文化祭では、実際に鉱石ラジオを聴く体験もしました。電気も電池も使わず、小さな鉱石が空中を飛んでいる電波をとらえるという不思議。イヤホンから聞こえるかすかなラジオの声に耳をそばだて、きこえる、きこえる」と笑顔がはじけました。



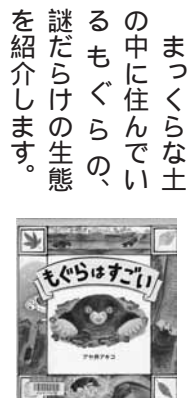
おすすめの新着本紹介

『このねこ、うちのねこ』
ヴァージニア・カール(徳間書店)



7軒の家がある小さな村にやってきた白いねこは、それぞれの家で名前をつけてもらい、かわいがつてもらっています。ところがある時、どの家でもねこを飼わなくてはいけない」と

いう法律ができたから、さあ大変。『もぐらはすこい』
アヤ井アキコ(アリス館)



まっくらな土の中に住んでいるもぐらの、謎だらけの生態を紹介します。
『DIYでストーブを作る』
(学研プラス)



少ない薪でよく燃えるロケットストーブや、薪ストーブ、時計型薪ストーブの実例や作り方が満載。ストーブ作りのための鉄工DIYテクニクも収録しています。
『みんなのどんぐり帽』
日本文芸社・編(日本文芸社)



ちよこんと飛び出たてつべんがかわいいどんぐり帽は、いま大人気！この冬、編んでみませんか？
『ほったらかし掃除術』
松橋 周太(主婦の友社)



酸素系漂白剤「オキシクリン」を使った家中の掃除方法を、「家事えもん」がわかりやすく紹介します。年末の大掃除に間に合います。



山形ヴァイオリン教室



機織り体験実施中



クレヨンママ



かわいいイラスト描いてます



暁岳流吟詠山形道場



鉢盛中学校合唱部



タップ&パントマイム



山形小学校金管バンド&やまがたウインドアンサンブル

山形村総合文化祭

今年のテーマ

輝かがやき

11月3日(土)・4日(日)、トレーニングセンターにて第68回山形村総合文化祭が開催されました。ふるさと大ホールでは16団体による芸能発表会が行われステージ上では一人ひとりが輝いていました。また、体育館などで展示発表、ワークショップが行われました。今年にはスポーツ推進委員主催の護身体験や体力測定、図書館でのイベント、毎年恒例の本館社会部による食堂があり、参加者、来場者みんなが楽しんでいました。



夕月琴クラブ



彌磨太鼓



玲心会



山形村音楽クラブ



完璧な茹で加減



こどもコーラスTanpopo



山形村民話クラブ「灯」



KID'S DANCE BOX



山形ジョイ ハーモニカ



社会部長の名司会



フラサークル



投げられる暴漢役

ようこそ
山形村へ！



新・地域おこし協力隊 見澤 愛さんインタビュー

坂野さんに続く2人目の地域おこし協力隊として10月から見澤愛さんが山形村へやって来ました。
さてどんな方なんでしょうか？
編集部員の小野が聞いてきました。



プロフィール
 【名前】 見澤 愛 (みさわ まな)
 【誕生日】 1994年10月7日
 【出身地】 埼玉県
 【趣味】 ディズニーに行くこと
 映画鑑賞
 【特技】 バスケットボール

小野 早速ですがどうして山形村に？
 見澤さん (以下敬称略) 元々洋食の料理人だったのですが、おそばが大好きでそば職人を目指しています。祖母の家が松本にあることもあり、おそばの有名な山形村に興味を持ちました。
 小野 山形村はどうですか？
 見澤 自然が多くて過ごしやすいです。空や雲が好きで良く見えています。あと、村民の皆さんが繋がりを大切にしているのかなと思います。
 小野 では、今はどんな活動をしているんですか？
 見澤 まずは村を知り、そして私の存在を皆さんに知ってもらうことを頑張っています。積極的に村の方と関わって名刺100枚を3ヶ月中に配り終えるのを目標にしています。



そばの実からゴミを取り除く

小野 具体的にはどんな活動をしたんですか？
 見澤 そば祭りのお手伝いをしたり、村の会議に出席したり、農作業やリンゴジュース作りを体験したり……

見澤 個人的にはこれからそば職人になるための修行をして、自分の店を出したいです。味はもちろんですけど、お客様を大事にして、「この人に会いたいから来た」と人が集まる様なお店にしたいですね。
 そして唐沢そば集落はおそばもおいしいし雰囲気がいいので、山形村の観光資源としてもっと活気が出ればいいなと思っています。中には残念ながら閉めてしまったおそば屋さんもありますが、すべてのお店に毎日たくさんのお客様

さんが来て繁盛するようにお手伝いしたいです。
 小野 私も山形村のおそば好きです！観光客がたくさん来るようになるとういんですね。
 見澤 おそばを食べに来て農業体験もできるみたいな観光プランも面白そうだなって思っています。
 小野 いいアイデアですね！ぜひ実現してください！今日はどうもありがとうございます。
 見澤 ありがとうございます！また(ニコ)ー！

見澤さんは「お仕事が楽しい」と笑顔で話してくれました。これからも精力的に色々と挑戦するようです。とても話しやすい方なので皆さんも恥ずかしがらず声を掛けてみて下さいね！




そば祭りではそばの調理補助も

- おめでた(子・親)
- 小澤 懐大・雄宇・上竹田
 - 土田 悠史・岳史・上大池
 - 中村 光希・真由子・上竹田
 - おくやみ
 - 笹川八重子・87歳・小坂
 - 宮沢 勝海・83歳・上竹田
 - 岩岡 良明・67歳・中大池
 - 森井より子・76歳・下大池



(敬称略)

地域おこし協力隊からイベントのお知らせ
 ~X'mas 親子クッキング~
 クラムチャウダーと長いもパンケーキを作ります
 日時 12月23日(日) 午後1時~4時
 場所 いちいの里 栄養実習室
 対象 小学校3年生以上の親子
 参加費 500円(1組あたり)
 定員 先着10組
 持ち物 エプロン、三角巾、ふきん
 お問合せは、地域おこし協力隊(98-3111)まで！



11月8日(木)、小学校で持久走大会が行われました。コーン変更に伴い距離が短くなりましたが、児童たちは練習の成果を発揮し一生懸命走りまわりました。保護者や友人の声援に後押しされゴールする姿に、多くの感動がありました。



持久走大会

社会教育功労者表彰

11月2日(金)、東京都新宿区の日本青年館ホールで、平成30年度社会教育功労者表彰(地域における社会教育の振興を多年にわたり推進した方の功績をたたえ、文部科学大臣が表彰するもの)が行われ、山形村から逢澤佳丸さん(上竹田)が受賞されました。逢澤さんは学校教諭退職後、社会教育指導員や生涯学習推進協議会長を務め、生涯学習基本構想及び計画の策定、生涯学習カレンダーの作成にも取り組み、社会教育の発展に寄与されました。

また、文化財保護委員としても活動しており、小学校児童や村内外の住民など幅広く村文化財の紹介を積極的かつ継続的に行われています。

これらの活動が地域の活性化に大きく貢献していると認められ、今回の受賞となりました。



簡単!可愛い!!バルーンアート

公民館のバルーンアート講座が、10月17日(水)からスタートしました。東海林とも子さん(塩尻市)を講師に招き、風船を使ったフレーム作りやハロウィンに合わせた作品を仕上げました。また、作品は文化祭会場を華やかに彩ることに役買っていました。



世界にひとつだけの作品づくり

11月7日(水)、ミラ・フード館で上條京子さん(松本市)を講師に招き、公民館の陶芸教室が始まりました。受講者は土を練ったり、模様を彫ったりとオリジナルの作品作り集中していました。焼くのは12月頃になるということで、今から出来上がりお待ちくださいね。



個性が光る 藍染め抜染

11月7日(水)、昨年から人気の公民館染め物講座がミラ・フード館で行われました。大久保匡晃さん(朝日村)を講師に招き、今年は新たに藍染めの抜染に取り組みました。受講者はシャツやストールなどを思い思いのデザインに染め上げていました。



みんなの人権 ⑦

“Sさん、Sさん、あなたに私の車椅子を押してもらいたいんだ!”
 ~おばあちゃんの一言が、少女を変えた!~ 自尊感情高まる瞬間

あなたにわたしの車椅子を押してもらいたいんだけど!。彼女は、これまで「Sさん」と名指しで、「車椅子を押してほしい」と丸ごと頼られた経験が、ほとんどありませんでした。固有名詞で、名指しで頼られたよるこび。「要る場所」を得て、「自己充実感」を感じた彼女は、見る見る目が輝いていった、と言います。その後、クラスへ戻ることができた彼女は、学級づくりの中核として活躍してくれました。

「要る場所」を得たSさんの心に芽生え始めた、「自尊感情」や「自己充実感」。それは、人権文化の不易の基盤でもあるように思えます。そして、「大人の生きざまが、またその一挙手一投足が、子どもたちの生き方を大きく変えることもある」ということに思いを至しながら、この1年間の山形っ子たちとの触れあいを思い起こしています。

(H・30・11 M・H記)



晩秋の訪れとともに、日も短くなりました。山形小学校も11月から、冬日課になり、それとともに、毎水曜日に開



ワイン好きの集まりから 地域の元気発信!

山形村ワインを楽しむ会
(会長 百瀬厚美さん 下竹田)



絆

KIZUNA

ボージョレ・ヌーボーも解禁され、ワインを味わうのにいい時期となっていますが、村内にもワイン愛好家が集まる『山形村ワインを楽しむ会』があるのをご存知ですか。

平成19年に開催された公民館講座「ワインの学校」に参加された方が講座終了後もワインの会を継続したいと考え、百瀬会長を始めとする6人の方が発起人となり平成21年12月に会が発足し、今年で10年目を迎えます。発足当初は17名の会員でしたが、現在は62名にまで増え、2〜3ヶ月に1回のペースで行われる会では、村内外から講師を招きワインに関する知識も高めています。「30代から80代までの幅広い年齢層の人が集い、女性の会員も多くなった。会員の他にもワイン通が多く、会員が講師を務めることも多くなっているんですよ」と会の充実を百瀬会長は喜んでいました。

11月のワインを楽しむ会が第46回となり、節目の50回も近づいています。「定期的に集まるこうした場が村興しの一環となればうれしい。地元のワイナリーも大事にして、大きく育つように協力していきたい」と百瀬会長は話してくれました。

もえ か
根岸 萌香さん

上竹田
うお座

成人式で **パート**

春と真

伊東 直樹さん

中大池
やぎ座

恩師の背中を
追いかけて



歴史と観光の
コラボ



「歴史の勉強が一番得意で好きだったので、史学科を選びました」と話す直樹さんは、現在奈良県の大学で勉学に励んでいます。

大学の講義の中で観光業にも興味を持ち、歴史と観光に関わるツアープランナーのような仕事に将来は就きたいそうです。

高校までサッカーに夢中で運動も大好きでしたが、最近では歴史遺産を観に行くことが多いそうです。「個人的には法隆寺がお気に入りです」と奈良の観光スポットをおすすめしてくれました。

静岡の大学で教員になるために学んでいる萌香さん。中学校時代の社会の先生から多くの言葉をもらい、影響を受けたことが教員を目指すきっかけとなったとのこと。

「当時の授業が面白く、生徒をワクワクさせるような先生に自分もなりたいたいけれど、まだまだ学ぶことが多いと感じています」と話してくれました。

そんな萌香さんの趣味は音楽を聴くことで、子どもの頃にお父さんの車の中で流れていた曲を今でもよく聴いているそうです。